

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

就労のみんな頑張った

一年間お疲れさま

令和元年度最後の3月。就労の皆さんは一年の作業の締めくくりとして大きな楽しみを抱えていた。それは3月25日一時金（ボーナス）が出る日だ。毎年この日が、就労の皆さんが日々働いて得た収益は、必要経費を除いて基本全員に配分することになる。ここ数年、4万円前後の一時金をお渡しできている。今年はどうか？所長は2月末から3月にかけて、今年度の余剰金はどのくらいになるだろうか？と、作業益の収支計算書とにらめっこ。にらめっこの結果、今年度は就労グループお一人当たり概ね3〜7万円前後の一時金が出せる事となった。（この

一時金は就労の利用者おひとりごとと年間の労働時間率で余剰金を割ったもの。さて当日、就労グループは朝礼中から皆さんテンションが普段と違う。所長も皆さんの一時金が入った工賃袋を持つ手が緊張する。総額100万円近くを支えているからだ。それでは支給します！一年間お疲れさまでした。たくさんのお金が入っているの、しっかりと確認してください。金額に間違いはないですか？所長も嬉しいが、一番嬉しいのはご本人。そして就労のスタッフもとても嬉しい。それは皆が頑張った結果だからだ。令和2年度も令和元年度を上回る工賃を支給

したい。就労グループ一致団結して作業をし、たくさんのお金を持ち帰ってほしい。

新年度 新しい友達増える

令和2年度がスタートした。年度末から年度初めにかけて、新型コロナウイルスの対応一色になりがちだ。私たちは障害福祉サービス事業所である以上、できる限り安全な範囲で普段の活動を普段通りに続けるよう努めている。ありがたいは、利用者の皆さんがいつものようにみぞくちへ来て、いつものように活動をして、いつものように帰る事だ。閉塞感漂う世の情勢だが、少しほっとした時を感じる。4月、生活グループには1名の新しい友達が増えてきた。これまで実習で何度か来ていたので、他の利用者の皆さんも馴染みのような印象だ。さあ、新しい友達を交えて、これからどんな活動をしていこうか。スタッフも沢山の楽しみと少々の不安とで新年度をスタートした。

必ず勝つ！ 新型コロナウイルス

新型コロナウイルスが全世界に拡大し、日本も日毎に感染者が増え続けている。岡山県内でも4月2日時点で7人目の感染者が発生し、日常が非日常になりつつある。千葉県では障害者入所施設で感染が広まり、4月1日時点で入所者の7割が感染。またその関係者を含めると95人が感染しているとの事。

新型コロナウイルスのメディアで報じられているように、不要不急の外出を避ける事。そして「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密閉場所」「近接会話や発声をする密接場面」の3密を避ける事。何より手洗いと健康観察。個人個人でできる事を確実に、人類全体で新型コロナウイルスの早期終息を目指している。